



令和7年2月28日

担当課	和歌山城整備企画課
担当者	大山、古川
電話	073-435-1044 (平日のみ)
内線	3837、3850

## コーナー展示

### 小説『青い壺』と有吉佐和子愛用の青磁



4月26日～5月30日  
の間  
期間限定で有吉佐和子  
『青い壺』の直筆原稿を  
展示！



青磁 童女

無名の陶工が生み出した青磁の壺が映し出す、所有者の人間模様を描いた有吉佐和子の小説『青い壺』は、昭和52年（1977）に文藝春秋から刊行されました。

現在、この小説が復刊されて累計60万部を超え、改めて注目が集まっています。

有吉佐和子は小説の主題に青磁を選ぶのみならず、青磁の品々を数多くコレクションしていました。

今回の展示では、和歌山市に寄託されている有吉佐和子愛用の青磁をご覧ください。小説に登場する壺と同じ形の花入や会期後半には小説の生原稿を展示します。

## わかやま歴史館

### 2F 歴史展示室

#### 【展示期間】

令和7（2025）年3月4日（火）

～5月30日（金）

#### 【開館時間】

9時～17時30分（入館は17時まで）

#### 【入館料】 わかやま歴史館入場券

大人100円、小人（小中学生）無料

※和歌山城天守閣共通入場券で入場可能

※和歌山市在住の65歳以上の方は無料

※障害者手帳をお持ちの方などは無料



青磁 筒花入

わかやま歴史館 5階 コーナー展示

# 小説『青い壺』と 有吉佐和子愛用の

## 青磁

青磁の壺が破れ出す所有者の人間模様を描いた有吉佐和子の小説『青い壺』（文藝春秋、1977年）。復刊された同小説は累計60万部を超え、再び注目を集めています。

今回は有吉が収集していた愛用の青磁をご覧いただくとともに、会期後半には小説の自筆原稿を展示します。

令和7年(2025)  
3月4日(火)～  
5月30日(金)

会場：わかやま歴史館  
2階歴史展示室

入場料  
大人 100円  
小中学生無料

※本館開館日のみ入場可能となります

